

# 「情熱が、鉄を溶かす」

日付: 2024年8月19日(月)

場所: 王子製鉄群馬工場 (<https://www.oji-steel.co.jp/>)

参加生徒: 2年生8人、1年生1人

夏休みも終了間近、厚木中央公園から貸切バスで揺られること約2時間半、群馬県にある王子製鉄へ工場見学に行ってきました。

到着後、早速フル装備(作業着、タオル、メガネ、防塵マスク、ヘルメット、インカム!)に着替えて工場見学へ(工場内写真撮影はNG)。

午前中の工場見学では製造設備の中でも「原料配合」「溶解」「取鍋精錬」「連続鋳造」と言われる過程を見学させていただきました。「溶解」の過程では巨大な電気炉が実際に稼働しており、火花が飛び散ったり煙が舞い上がる様子を見ることができました。

昼食をとり、午後は会社概要と【鉄】に関するお話からスタートしました。鉄がどう暮らしを支えているのか、リサイクル率や鉄鋼材料の発展性、製造プロセス、鉄鋼分野の最新設備・新技術などについて話を聴かせていただき、普段意識していなかった鉄に対する見方や考え方が一新されました。

午後の工場見学では「加熱」「圧延」「冷却・精製・仕分」「出荷」に関する設備を見学しました。各工程においてしっかりコンピュータ管理がされていましたが、どうすればより効率良く、どうすればより安全に、ということを目的とし、課題を見つけ、計画を立案し、実行して振り返る、という過程に日々取り組んでいるとのことでした。このあたりはヴェリタスⅡでの取り組みに近いものを感じました。

また実際にリサイクルされている様子も目の当たりにすることができ、王子製鉄さんのSDGsへの考えや環境への配慮の仕方を知ることができました。

最後には社員の方との座談会を開いていただき、大学、働き方、社会人生活、モチベーションなどざっくばらんに話を聞かせていただきました。進路を決める上でのヒントになったのではないかと思います。

今回、工場見学を先導してくれたり、講義をしてくださった方はなんと、厚木高校出身の方でした(59期生だそう)。厚木高校出身の方が、様々なところで活躍されているのを再認識することができました。何より気さくにお話をしてくださり、生徒のみなさんも楽しく工場見学をすることができたと思います。お土産にタオルをいただいたり、飲み物もたくさん用意してくれたり、至れり尽くせりな見学となりました。

「情熱が、鉄を溶かす」というキャッチフレーズのとおり、王子製鉄のみなさんは情熱を持って仕事に取り組み、今回のツアーに関しても計画してくださりました。次のページでは生徒たちの、情熱的な感想(一部抜粋)を紹介します。



フル装備の様子。工場内は暑かった...



講義の様子。勉強になりました。

- 理系だからとりあえず理工学部って思っていたけど、話を聞いたらセキュリティのメンテナンス関係に興味を持って工学部に進む可能性が出てきた。社員さんの仲も良くて楽しそうに話していた。
- この企画に参加しようと思ったきっかけは、目指す大学・学部で悩んでおり、実際働いているところを見てもっと深く考えてみたいと思ったことでした。今回担当者の方々の話を聞いて、自分が本当に好きだと思える研究や製造を楽しんでいるのがとても印象的で、自分も学部決定は本当に興味があると思った分野にしようと思つて最終的に意思決定できました。また、王子製鉄の方々にとって製鉄の仕事は仕事をこなしているというイメージよりも、高校のヴェリタスや各授業で学んでいるような興味関心のあることを日々探求し続けるイメージの方が強いんだなあと、驚きました。私の目指す分野もものづくりという点において機械系に近いですが、製鉄所の方が自らの専門とする製鉄や制御の研究について楽しそうに自己満足でやっているとおっしゃっていたのを聞いて、自分の将来像が少しははっきりしてきた気がしました。それ以外にも、なかなか見ることのできない工場内の様子を見学させていただくこともでき、とても貴重な経験になりました。
- 昨年に引き続き工場見学に参加させていただいたが、今年は炉の動いている瞬間を見ることができて、また来た甲斐があったと感じた。実際に厚木高校を卒業された社員の方が説明しており、工場勤務についての実態から環境への配慮、将来必要となる仕事内容などについてもお話を聞くことができたので、とても良い経験になった。
- 製鉄所を訪れるのはこれで二回目であり、高炉型に比べあまり数の少ない電炉型が見れるとすごく楽しみでした。実際に行ってみると工場と職人の方々の熱気がすごく、また稼働状態の電炉はとても迫力がありました。
- 普段私たちの目にはつかない電車のレールやスカイツリーの展望台の一部に使われていることを知り、ほんとうに日常生活の歯車になっていることを実感しました。工場内の熱気は外の暑さに負けないうらいで、工場内で働いている人々は慣れているとはいえ、仕事をする環境としてはかなり過酷なものだと感じました。案内して下さった厚高の卒業生の方には今勉強を頑張っておかないと大人になって後悔することを教えていただきました。大人になってわからないことは再勉強した、と仰っていて改めて今勉強しておかないと苦労するのだと学びました。製造業のモチベーションはやりがいと自己満足とおっしゃっていて、やはりそれが一番楽しい働き方だと思いました。
- とても興味深い内容が多かったです。友達に誘われての参加だったので、建築業につきたいという強い意志があったわけではありませんでした。しかし、専門知識のようなものがなくても、どんな質問にもしっかりと答えていただけだったので、初心者すぎる私でもすごく楽しむことができました。仕事内容はかなりハードだったのに、従業員の方が楽しそうに仕事をしている姿を見て、素晴らしい環境が整っているのだと感じ、とても良い経験をさせていただけたことにとても感謝しています。あまり興味がなくとも、1度行ってみるだけでもかなり楽しめました。
- 王子製鉄所の見学では、先進的な技術に驚いた。特に、アーク(雷のようなもの)を用いてスクラップを溶かす技術に驚いた。また、鉄がどのようにスクラップから作られ、平鋼となるまでの一連の工程が興味深く、その工程の中にたくさんの工夫が詰め込まれていて勉強になった。安全管理も徹底されており、鉄の製造現場でのプロ意識を強く感じた。
- 製鉄に関して中学校社会程度の知識しかなかったが実際の景色は思ったより理論整然かつ努力の結晶のような雰囲気でもとても興味深かった。実際の理論については理系の知識が多かったため難しかったが、話して下さった時の熱意は作られた鉄より熱かったです。とても面白い見学でこの経験は理系知識としてだけでなく活躍をしてくれると確信できるようなものだったと思う。